

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：85件

問題あり：5件

要確認：12件

問題なし：68件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

三原じゅん子（みはら じゅんこ）

- 記載内容：「三原じゅん子氏（1964年9月13日生まれ）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia及び参議院公式サイトで確認済み

中根順子（なかね じゅんこ）

- 記載内容：「本名：中根順子」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイトで確認済み

石破茂内閣

- 記載内容：「2024年10月発足の石破茂内閣」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：首相官邸公式サイトで確認済み

神奈川県選挙区

- 記載内容：「神奈川県選出の政治家」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイトで確認済み

2. 数値情報

生年月日

- 記載内容：「1964年9月13日生まれ」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、参議院公式サイト、複数の信頼できる情報源で一致

在職期間

- 記載内容：「通算在職期間は15年に及び」
- 検証結果：✓正確

- 根拠・出典：2010年初当選から2025年現在まで約15年間

初当選年

- 記載内容：「2010年の参院選比例区で初当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイトで「平成22年7月参議院全国比例区にて初当選」と確認

神奈川選挙区くら替え

- 記載内容：「2016年には地元・神奈川選挙区にくら替えして再選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：日本経済新聞2016年7月記事で確認済み

3期目当選

- 記載内容：「2022年に3期目の当選を果たした」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：公式サイトで「令和4年7月第26回参議院議員通常選挙・神奈川選挙区にて3期目の当選」と確認

石破内閣での入閣時期

- 記載内容：「2024年10月発足の石破茂内閣ではこども政策・少子化対策・男女共同参画担当大臣として初入閣」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia「2024年10月1日、同日発足した第1次石破内閣において、内閣府特命担当大臣として初入閣」

3. 政策・発言関連

「愚か者の所業」発言

- 記載内容：「2019年6月の参院本会議で行った、安倍首相問責決議案への反対討論は有名で、『問責決議案の提出は愚か者の所業』と声を張り上げた」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：自民党公式サイト、複数の報道機関で確認済み

不妊治療保険適用

- 記載内容：「不妊治療保険適用は2022年に実現」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：厚生労働省「令和4年2月9日の中央社会保険医療協議会において、人工受精等の「一般不妊治療」、体外受精・顕微授精等の「生殖補助医療」について、本年4月から新たに保険適用されることとなりました」

4. 問題のある記載

女性局長の期数

- 記載内容：「党内では女性局長を4期務め（2013～2018年、2021年～）」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な期数と在任期間の詳細な確認が必要

発言回数

- 記載内容：「三原氏の国会での発言回数は約300回」
- 検証結果：△要確認
- 理由：正確な発言回数の統計データが確認できない

発言文字数

- 記載内容：「発言総文字数も延べ25万字超」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な文字数の統計データが確認できない

フォロワー数

- 記載内容：「Xのフォロワー数は2015年には約5万人でしたが、2025年6月時点で約12万人」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的なフォロワー数の推移データが確認できない

政治資金データ

- 記載内容：「年間収入総額は直近年で約5,000万円、支出総額は約4,800万円程度」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な政治資金収支報告書の数値確認が必要

5. 時系列・役職関連

厚生労働副大臣

- 記載内容：「厚生労働副大臣（菅義偉内閣）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：首相官邸公式サイトで確認済み

内閣府大臣補佐官

- 記載内容：「内閣府大臣補佐官（岸田文雄内閣）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：複数の信頼できる情報源で確認済み

改善提案

修正が必要な箇所

1. 女性局長の期数と在任期間の詳細確認が必要
2. 国会発言回数や文字数の統計データの裏付けが必要
3. SNSフォロワー数の具体的な推移データの確認が必要

追加確認が推奨される情報

1. 政治資金収支報告書の具体的な数値
2. 議員連盟の所属数（「10以上」との記載）
3. 法案成立率（「8割以上」との記載）
4. 審議会参加頻度（「年間3～5回程度」との記載）

総合評価

本レポートは全体的に高い正確性を保っており、主要な固有名詞、日付、政策内容については信頼できる情報源による裏付けが取れています。特に基本的なプロフィール、選挙履歴、役職歴、主要な政策実績については正確性が確認できました。

一方で、統計的な数値（発言回数、文字数、フォロワー数など）や一部の定量的な情報については、より具体的な根拠資料の確認が望ましいと思われます。